● 指導のポイント

学校教育目標　未来を拓き，たくましく生きる子どもの育成

せらひがしっ子に付けたい資質・能力
◎表現力
◎主体性・協働性
◎自己理解

＜目ざす子ども像＞
夢や志をもち，自ら挑戦する子ども
「挨拶」「歌声」「体力」

＜目ざす授業像＞
自ら学ぶ授業，カリキュラムマネジメント
「できる」「もっとやりたい」

研究主題

自己を見つめ，よりよく生きようとする児童の育成
～“かかわり”の中でより深める道徳科の指導と評価の工夫を通して～

研究仮説

教材，人，自分との“かかわり”を大切にした道徳科の授業を行ったり，自らの生活や考えを見つめさせるための振り返り活動を行ったりすれば，自己を見つめ，よりよく生きようとする児童を育成することができるだろう。

［ポイント］道徳科を要とした「自分のよさや成長が実感できる活動」の充実
☛年間を見通した総合単元的道徳学習プログラムの改善・充実

第６学年　総合単元的道徳学習プログラム　２学期

総合単元名	一生懸命はかっこよく美しい６年生	実施　９月～12月
めざす子どもの姿	謙虚な心をもち，自分をよりよく高めともに伸びようとする子	中心項目 B 相互理解，寛容 関連項目 A　正直，誠実 C　よりよい学校生活，集団生活の充実
単元設定の理由（児童の実態）		

一貫したプログラムになるよう意識する

時期	教科・特別活動●常時活動（評価方法）	道徳科	子どもの意識の高まり
9月	①課題の設定　学級活動 「２学期もがんばろう」 ２学期の目標を決めて，思い出に残る学校行事にしよう。 ②実行　学校行事「修学旅行」 ・相手のことを考え，学んで，笑って，最高の思い出をつく ●帰りの会 「いいこと見つけ」 ・友達と励まし合い，協力し合った経験について発表する。（発言） 学級活動 会に向けた目標	③情報の収集 C よりよい学校生活，集団生活の充実 【集団の一員として】 「みんなで劇をつくろう」 自分の力を生かし，分に任されたことを責任をもってやり遂げ，みんなの力を合わせて目ていくことめることに の役割を積をうとする。	①みんなで高め合いながらやっていきたい。 ●友達のよいところをまねしよう。 ②相手のことを考えて行動して，最高の思い出をつくりたい。 ③集団の中で自分の役割を自覚し，陸 やグループ で取り組
10月	⑧まとめ・創造・表現 音楽・総合的な学習の時間 「学校文化発表会・学習発表会に向けた練習」 ・自分の目標をもち，友達同士励まし合いながら努力する。 ●学習発表会の目標について振り返る。（ワークシート）	る】 な状況にあ 誠実に行動 活をしよう とする心情を育てる。	⑤友達が，1000m走で最後まで走りきっていた。まねしたい。自己新記録を更新したい。また，せらひがし小学校の代表という意識をもってのぞみたい。 ⑥自分の目標を達成することができた。学習発表会も目標をもって取り組みたい。 ⑦自分で決めたことに後悔しない生き方をしよう。 ⑧自 んな で の宝 を ●演 して やりきった。
11月	⑨実行　学校行事 「学校文化発表会・学習発表会」 ・２つの行事を，友達同士励まし合い，協力し合いながら表現する。 ●月末に道徳の振り返りをする。（ワークシート）	⑩情報の収集 B 相互理解，寛容 【理解し合う大切さ】 「『ダン』をどうする？」 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに，謙虚な心をもち，広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする態を養う。	⑨自分の役割を果たし，みんなで協力して，「学校文化発表会・学習発表会」を成功させることができた。マラソン大会や甲山駅伝も最高学年としてがんばりたい。 ⑩相手の意見を謙虚に受け止め 尊重したい。 道 識し て， できた。
12月	う」 ことや ことを	謙虚な心をもち，（B） 自分をよりよく高め（A） ともに伸びようとする子（C）	⑪相 つけたり，男女協力して行事をやりとげたりすることができた。３学期は，最高学年として最後の学期になる。卒業式に向けてがんばりたい。

工夫
✿児童の実態を踏まえ，学期ごとに「中心項目，関連項目」と「自分のよさや成長が実感できる活動」を位置付けた総合単元的道徳学習プログラムの工夫をする。
✿道徳科の授業における振り返り，毎月末の振り返りの継続的な実施とその活用をする。

自分のよさや成長が実感できる活動

集団の中での自分

自分自身

相手